

## 環境白書の刊行にあたって



私たちは今、大気や水、廃棄物といった従来の環境問題に加えて、地球温暖化や生物多様性の損失といった地球規模の環境問題に対しても積極的に取り組むことが求められています。

こうした地球規模の環境問題は、社会の様々な分野の事業活動や一人一人の日々の暮らしと密接に関連した問題でもあるため、その解決のためには、行政だけでなく事業者や県民が、事業活動や日々の暮らしの在り方を環境に配慮した方向へ変えていく努力が大切です。

そのため、県では、県民、事業者、行政等の各主体が「協働」して、環境への負荷の少ない「循環」を基調とした持続可能な社会、そして自然と人との「共生」する社会を構築することを目指し、様々な取り組みを行っています。

特に、これまで地球温暖化の防止を念頭に取り組んできたいしかわ版環境ISOについては、東日本大震災以降、全国的に省エネ・節電に対する関心が高まりを見せていることから、今年度は更に一步踏み込んで、省エネ・節電に効果が高い取り組みを「アクションプラン」として実践していただく取り組みを進めています。これを機に、新たに多くの方々のいしかわ版環境ISOへの参加を促進し、取り組みの裾野の拡大を図っています。

また、生物多様性の確保については、「能登の里山里海」の世界農業遺産としての認定以降、その意義や価値について、積極的な情報発信を中心に取り組んできたところです。そして今年度は、多くの方々に里山保全活動に参画いただき、交流を促進するための仕掛けである「里山ポイント制度」の創設など、世界農業遺産の利活用と更なる価値の向上に向けた保全の仕組みづくりに軸足を移し、本格的な事業展開を図っています。そして、本年5月末には、新たな世界農業遺産の認定等を行う「世界農業遺産国際会議」が本県で開催されることとなっており、石川ならではの里山里海の利用保全の取り組みや「能登の里山里海」の魅力を国内外に発信する絶好の機会となることから、関係機関と連携して準備を進めているところです。

この白書は、環境の現状や課題、平成23年度における施策の実施状況などをまとめたものです。本書が、環境に対する県民の皆様のご理解を深めていただく一助となることを願いますとともに、各種の取り組みについて積極的なご意見、ご提言、そして、ご参画を賜れば幸いに存じます。

平成25年1月

石川県知事 谷本 正憲